



はなみずき

成生小学校 校長だより
令和8年1月9日 No.12
校長 渡邊 隆

3学期に取り組みたいこと

新年が明けました。今年は丙午の年。火の力のように勢いよく学習に活動に取り組んでいきたいものです。1月7日（水）に行われた3学期始業式では、次のような校長講話を行いました。一部抜粋して紹介します。

さて、3学期は短い学期となります。今年度、それぞれの学級で、皆さんに立てる目標を達成していくためにも、毎日のがんばりが必要です。特に、6年生にとっては、残り少ない時間を大切にしながら、成生小学校で残すものを考えてほしいと思っています。一つ例としてあげれば、それは「姿」です。通学班で登校しているときに、安全のために気をくばりながら取り組む姿。縦割り班で掃除をしているときに、気づきにくいところにも目配りしてきれいにしている姿。休み時間、1年生と遊んであげたり、下の学年の人とサッカーなどをしたりして、優しく接する姿。また、学習発表のときに自分がこだわった課題に一生懸命取り組み、充実した表情で語る姿。そのような、下級生のお手本となるような姿を残していってほしいと思っています。

最上級生である6年生にとって、成生小学校で過ごす日々も残りわずかになってきています。そのような中で、次の学年に託すものを「姿」として残してほしいと考えています。特に、運動会などの学校行事や児童会活動などで思い悩んだときに、解決の糸口になっていくのが身近な先輩たちの姿です。そこを拠り所にしていくことで、つながりが生まれ、その積み重ねがいわゆる「伝統」という形で紡がれていくと思っています。さっそく、始業式の跡片付けの場で、積極的に動く姿が6年生たちに見られました。これまで行ってきましたが、今回は、その行動に機敏さが見されました。すがすがしい形でのスタートとなった3学期。これから子どもたちの活躍が楽しみです。



書き初め会

1月8日(木)に書き初め会を行いました。昨年度までは、中・高学年は講堂において実施していたのですが、今回はすべての学年が教室で行うこととなりました。1年生は鉛筆、2年生はペンで硬筆の清書、3年生以上は毛筆での清書です。書き初めというと毛筆のお手本は長い形の紙に書くのが一般的ですが、今年からこれまでの書写の時間で学んだものに取り組むことにしました。それぞれ、自分の目標を立てて書いた子どもたち。お手本通りに書くことはとても難しいのですが、真剣に、丁寧に取り組んでいる姿が印象的でした。できあがった作品は廊下や教室に掲示して、互いに見合う活動なども行っています。



2学期終業式の振り返り発表について紹介します。3学期のめあて発表朝会は、1月14日（水）に行う予定です。

二学期の振り返り

四年一組 東海林 由依

わたしが二学期にがんばったことは二つあります。
一つ目は、いえの人のお手つだいです。おかあさんがよろこんでくれました。「これからもつづけたいです。
二つ目は、ともだちとけんかをしないで生かつできたことです。とくに、うきさんとあすなさんとそをかいだことがたのしかつたです。
三つ目は、あきのたんきよりそつきぐくかいです。はるのきくよりタイムをぢぢめる
めあてをたてました。まつすぐまえをむいて、ほん気ではありました。そして、しんきくがとれました。とてもうれしかつたです。



二学期を振りかえって

一年一組 さとう きき

わたしが、がんばったことは三つあります。
一つ目は、いえの人のお手つだいです。おかあさんがあらいとせんたくものをほすのを手つだつて、「これからもつづけたいです。
二つ目は、ともだちとけんかをしないで生かつできたことです。とくに、うきさんとあすなさんとそをかいだことがたのしかつたです。
三つ目は、あきのたんきよりそつきぐくかいです。はるのきくよりタイムをぢぢめる
めあてをたてました。まつすぐまえをむいて、ほん気ではありました。そして、しんきくがとれました。とてもうれしかつたです。



雪の中での安全

今冬は、1月に入っても積雪の量が少なく、雪道での登下校について、そこまで気を配る必要がない状態となっています。しかし、今週末あたりにかけて、県内でも大雪の見通しが示されており、油断なく対応していくことが大切です。そこで、改めて、以下に雪の中での安全ということで確認をしたいと思います。

【雪道を安全に歩くポイント】

- ①道路はすべりやすいところがあるので注意して歩くようにしよう（横断歩道やマンホールの上などが危険です）。
- ②除雪した雪などで見通しが悪い場所（交差点や曲がり角など）では、しっかり左右確認して歩くようにしよう。

【こんなところには近づかない】

- ①のき下（落雪がある）
- ②除雪機（手足が巻き込まれる）
- ③水路（雪にうもれ見えない）

※参考：「雪の中での安全」H24 山形県教委作成



冬の避難訓練

今回の避難訓練は、防火扉への対応も含めた積雪時の避難でした。冬になると、これまで使用できた避難経路が落雪等のため使えないところもあります。そのことも子ども達に伝えながら、避難を行いました。また、火災が起きた場合と同じ環境で訓練を行うことがとても大切だということも伝えました。



この時期は乾燥しやすく、ニュースでも度々火災に関する痛ましい内容が伝えられています。子ども達には、改めて自分事として、どのようなときも避難時の適切な行動ができるようにしていきます。
